Fuji Electric MONITOUCH

V-SFT Ver. 6.1.1.0 バージョンアップ情報

		V9	TS2060i/T	S2060	V8i(N)/V8(N)	X1	1.00
	本体プログラム	Ver. 2.300	Ver. 2.	360	Ver. 2.360	Ver. 1.100 *	
	OS	Ver. 4.10					
	* X1のアップデ-	・ - トプログラムはホームペ・	ージからダウンロード	してください。フ	アップデート手順は『X1 [·]	セットアップマニュア	し』を参照。
			接	続			
1	接続可能機種追加 対応機種: V9/TS2060 接続機種:日立製作所	: 日立製作所 H Di/TS2060/V8i(N)/V8(N) HIDIC-S10/ABS	IDIC-S10/ABS				
2	接続可能機種追加 対応機種: V9/TS2060 接続機種: 神港テクノ	: 神港テクノス Di/TS2060/V8i(N)/V8(N) ス PCA1シリーズ	PCA1シリーズ _{)、X1}				
3	接続機種仕様拡張 ^{対応機種} : TS2060i/V ^{接続機種} : BECKHOFF BECKHOFF	: BECKHOFF A /8i(N) - ADS プロトコル(Ethen - タグ ADSプロトコル(E	DS プロトコル(net) thernet)	Ethernet)	KeepAlive対応		
			機	能			
1	Nステートランプ 対応機種: V9/TS2060 (概要] ・名バターンに任意の: ・マクロなどのプログラ 設定できます。条件 例:ランプのパター ・ デバイス: M0 パターン: OFF	Di/TS2060、X1 デバイスを設定できます。 ラムなしで、ランプ点灯の 件:OR、AND、範囲設定な ン数4 ・ M0 X1 ON P3 7 トリ・ーンドTI表	条件を最大4つ こ ど Y10 P4	パ 297/ル ステル マテ属性 (ステートランプ 表示・非表示 適かい設定 AND・Of	52.7支後伊井支3 → 068度	^{&(#2}	X 多件4 上に移動 下に移動 前時 正に移動 下に移動
2	 新画しエーア・ク 対応機種: V9 【概要】 動画ビューア上でスト ストレージを選択後、 アラーム発生時に録画 デフォルト:アクセス 	、トレーン切替(SD/USB)が フォルダ/ファイルを自由は した動画ファイルも選択し フォルダ/VIDEO	できます。 C選択できます。 て、再生可能です。	ZTIL-S SD	ジ切替 10309 LARMO1 000 A 20210309 LARMO1_001_AR_20210305 E	44255. mp4 1144626. mp4	

1ページ

2021.4

◎開く ◎戻る

機能

3 USBカメラ スナップ機能

対応機種: V9

【概要】

USBカメラを使ってリアルタイム表示の映像を画像ファイルとして保存できます。マクロコマンドにも対応するため、ユーザの好きなタイミングで 実行できます。



【保存ファイル】 JPEGファイル

【実行タイミング】

- ・USBカメラ表示アイテムのダブルタッチ動作
- ・USBCAMマクロ

【設定箇所】

・ダブルタッチの場合: USBカメラダイアログ→ [動作選択] → [ダブルクリック時の動作: スナップ]



- ・マクロコマンドUSBCAM
 - ※詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』または『V9マクロリファレンス』を参照。

4 ピクチャビューア

対応機種: V9、X1

【概要】

ストレージに格納された画像ファイルをビクチャビューア上に表示できます。表示可能な画像ファイルは、JPEG、ビットマップ、PNGの3種類です。 ビューア上でストレージ切替やフォルダ/ファイル選択ができるため、ユーザが用意した画像ファイル以外にも、USBカメラのスナップ画像など、 V9本体で生成した画像ファイルも表示可能です。

【表示可能なファイル ・IPECファイル・*			ピクチ	ヤビューア	表示中のファ	ァイル情報も確認可能
・ビットマップファ	.JFG イル *.BMP				ファイル情報	
・PNGファイル *.	PNG			144-10/	ファイル名	PICT00000.jpg
					ファイル種別	jpg
【ビューア表示方法】	の「ピクナービ		±		格納先	C:/EXT0000/PICTURE
 ・ンステムメニュー ・フィッエ 掛出「ピ 	の「ヒクナヤヒ クエャビュ マ	ユーア」スイッチ(ローカル画面でも キニュ	衣示可)		作成日時	2020/11/18 15:37:03
・スイッテ城北「L	シテヤヒューゲ	衣小」			更新日時	2020/11/04 10:37:16
					ファイルサイス	C 201809 Byte
						🚫 閉じる
【設定箇所】					ET G	
[システム設定] →	[その他] → [ピクチャビューア設定]				
ピクチャビューア設定						
☑ビクチャビューアを使用	する					
ストレージ接続先	◉内蔵ソケット				0%	🔁 開く 🚫 閉じる
	◯ USB ポート					
☑ 制御デバイス	PLC1 ~ 0	💠 D 🗸 00200 🚖 🙆				
ファイル種類	○ JPEG					
	PNG					
	○ BITMAP					
ファイル指定方法	○ファイル№.	No. 0 /99999 [PICT00000.PNG]				
	○ファイル名	.PNG				
	●デバイス	PLC1 🗸 0 💠 D 🗸 1000	÷ 🛈			
		~ D01001 0 ~ 99999				
情報出力デバイス	内部 ~ 0	≑ 💲 🗸 🕹 🗘				



6 トレンド(履歴) 機能拡張

対応機種 : V9、X1

【概要】

・カーソルの色、線種を自由に指定できます。 ・バックアップファイルの表示順を設定できます。

【設定箇所】

カーソルの色、線種、バックアップ一覧上の表示順はそれぞれトレンドダイアログで設定します。



7 言語切換 32言語対応 対応機種: V9、X1

【概要】

【システム設定】→[フォント設定]→[切換言語数]を16言語→32言語に拡張しました。 エディタメニューや言語切替用スイッチ、マクロコマンドSYS(CHG_LANG)も 32言語まで設定可能です。

マクロコマンドSYS (CHG_LANG) 値

15:38:11

ピンチイン

	但
-0	CHG LANG
-1	0:第1言語
	1:第2言語
	:
	31:第32言語

ठ ७ छ 😋 渊 🚍

8 PDFビューア 拡大/縮小

対応機種: V9Advanced (静電容量タイプ)

【概要】

ビューア上の拡大/縮小スイッチ以外に、 ビンチイン/ビンチアウトでの拡大/縮小に対応しました。







3ページ

9 AXIS製ネットワークカメラ 表示領域のフリーサイズ指定 対応機種: V9

対象: AXIS製ネットワークカメラ

【概要】 V9上の表示領域をフリーサイズで設定可能です。

【注意事項】

ネットワークカメラの対応解像度に設定してください。 未対応のサイズは正常に表示されません。



11 メモ帳 機能拡張

対応機種: V9、X1

【概要】

\$sを使用して、メモ帳の表示ページNo.やペンカラーの指定が可能です。 また、指定したページNo.のデータを消去して表示することもできます。

【仕様追加】

¢c106	<				
\$3100	15 14 13 12	11 10 09 08 07	7 06 05 04 03	02 01 00	
	-T				
	消去	未使用		メモ帳No. 0~7	
	スクリーン切替時 1:指定した *消去後、	チ ページNo. の消去 1→0に戻る		現在表示中のペ- 表示ページNo.の	−ジNo.を格納(→V9、X1))指定(←V9、X1)
¢c710	・ペンカヨーの地	≘完(∠\/0 ∨1)	※フクリーン/刊	麸時のみ右効	ペンカラー 里・0

\$s719 ・ペンカラーの指定(←V9、X1) ※スクリーン切替時のみ有効	ペンカラー 黒:0
・スイッチ機能で指定したペンカラーを格納(→V9、X1)	青:1
	赤:2
	紫:3
【\$s106の使用例】	緑:4
マクロで \$s106=8001HEX を指定	水:5
\downarrow	黄:6
メモ帳を配置したスクリーンに切り替え	白:7(デフォルト)
\downarrow	その他、128色バレットカラーで指定可。
ページNo.1のデータを消去して、ページNo.1を表示(\$s106=0001HEXになる)	詳しくは『V9リファレンスマニュアル1』参照。

12 拡張帳票 対応アイテム追加

対応機種: V9、X1

【概要】

[登録項目] → [帳票] の拡張帳票画面に配置可能なアイテムが増えました。

【対応アイテム】

・トレンドグラフ

・メモ帳(\$s106に指定したページNo.を出力します)

フークカメラテーブル設定

機能

 No.
 メーカー
 IPアドレス
 ボートNo.
 基本電源型
 コンラ解除度
 回転(カンラ)

 AXIS
 192,158,1,200 80
 V
 wonloach
 ########
 8###27
 044/27
 0

 2
 0
 0
 monloach
 ########
 8###27
 044/27
 0
 0

 2
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0
 0

13 入力モード 仕様改善

対応機種: V9、X1

■ENTキーでのカーソル移動設定

【概要】

制御デバイス14ビット目(カーソル自動移動)の制御をせず、 ENTキーで次の入力対象にカーソル移動できます。 オーバーラップ上に入力対象がある場合も同様です。

【設定箇所】

入力ダイアログ→ [動作選択] → [ENTキー押下時にカーソル移動する]

■コピーペースト機能

እታ 動作選択 8 9 IIP 7 4 5 6 DW スタイル 1 2 3 CLR 表示·非表示 0 ENT 細かい設定 入力先 データ表示 🗸 制御デバイス 内部 ∨ 0 ≑ \$u ∨ 16330 ÷ □ ENTキーの禁止・許可を制御する(15ビット目) カーソルの移動方法 UP/DW スイッチ 〜 □カーソル移動時に入力値を書き込む ☑ENTキー押下時にカーソル移動する

【概要】

選択中の文字列をコピーして、クリップボードに保存し、別の入力対象に貼り付けできます。 同じ文字を入力する場合に入力の手間が省けます。 また、RUN中の間、最後にコピーした文字を保持するため、別のスクリーンに配置した文字列表示にも貼り付け可能です。 スイッチ

スタイル

文字属性 -

カデバイス

機能

機能 入力

直接

副第日月

ンマンス 文字列をコピーします。

機能

【対象アイテム】 文字列表示(機能:入力対象)

【設定箇所】

・スイッチの機能: 「入力」の[コピー]、 [ペースト] ・スイッチのIDNo.:入力モードのIDNo.と合わせる

【操作方法】

- 1. コビー元の文字列表示を選択
 2. コビースイッチを押す(スイッチ機能:コビー)
 3. コビー先の文字列表示(入力対象)を選択して、
- ペーストスイッチを押す(スイッチ機能:ペースト)

6

ΤY

G H

B N М 8 9

U I O

J K L

0

P @ [

【注意点】

日本語変換中のペーストは不可 詳しくは『V9リファレンスマニュアル1』参照

3 4

E R

DF

Z X C V

MONITOUCH

CLR

DEL

Enter

BKSP

UP

DW

RT Space

クリップボードに「MONITOUCH」が コビーされた状態



✓ ✓ ✓ 全て表示

~

14 表示形式「HEX」対応

Q W

A S

対応機種: V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1

【概要】

表示・非表示設定とインターロックの条件設定で 表示形式「HEX」に対応しました。

【対象項目】

- ・各アイテムの表示・非表示設定
- ・スイッチのインターロック

例:数値表示の表示・非表示設定



15 警報/演算/レンジ変換対応

対応機種: V9、X1

■シンボル

【概要】

シンボルに設定したデバイスに対して、警報/演算/レンジ変換機能ができます。 演算が必要なデータをPLC側やマクロで処理する必要がなくなり、複数箇所で使用時もシンボル側の変更のみで済むため、工数削減が可能です。

- 【使用可能アイテム】 ・数値表示
- ・ロギングサーバ * 警報は数値表示のみで使用 【設定箇所】 変換設定 ・シンボル: [ホーム] → [登録項目] → [シンボル] → [変換] をダブルクリック 入力形式 DEC ~ 転送 システム設定 ツール ホーム 編集 表示 ヘルプ 編集 表示形式 DEC(符号なし) v 🔏 切り取り (🔿 î 🗈 **⊨** 3 ☑警辑 🗙 削除 🛛 💿 詳細設定 貼り付け コピー シンボルの シンボルの インボート エクスボート 定数 ~ DEC ~ 0 最小値 の元に戻す ÷. A • バックカラー <u> •</u> 文字カラー 🔽 スクリーン[0] 🕨 シンボル[0] × 定数 ~ DEC ~ 100 最大値 ÷. ID シンボル 🔽 タイプ ▼ 配列 要素数 デバイス ▼ コメント ▼ シンボル使用状況 ▼ 変換 <u>A</u> • バックカラー <u></u>• 文字カラー ☑ 演算 BBB ビットワード M00000 未使用 CCC D00102 未使用 あり +(データ) X 1(U) G 0 (U) ラード DDD D00103 未使用 なし ▽レンジ変換 ____ ∼ <u>65535 (U)</u> 変換前範囲 <u>0(U)</u> G 変換後範囲 0(U) ~ <u>100 (U)</u> ・各アイテムの設定 例:シンボル AAA ・数値表示: [表示内容]→[表示デバイス]→[シンボルの演算/レンジ変換/警報を利用する] のチェック 数值表示 表示デバイス 表示内容 沙市111 ~ AAA ※チェックがある場合、数値表示の ✓シンボルの演算/レンジ変換/警報を利用する 12345 スタイル [演算/警報] は設定できません。 データ長 1ワード **~** 事業する知 ・ロギングサーバ: [システム設定] → [ロギングサーバ] → [ロギングデータ] → [変換] → [シンボルの演算/レンジ変換を利用する] のチェック ロギングサーバー ロギング方式 追加 トリガ -No.0:トリガ No.1:定周期 削除 ロギングデータ データ出力先 制御デバイス設定 書式設定 その他 コピー ロギング点数 10 \$ /256 一括設定 デバイス インポート エクスポ 貼り付け 1=1327 | 小数点 | データ長 | 文字数 | 文字処理 No. タイプ 変換 0 1 AAA SB->MSB

10-

1ワード

17-15

17

17-

-1ワー^{変換設定}

「演算

✓レンジ変換

あり

ጥዞ

tri

+(データ) X <u>1(U)</u>

~ ٦

65535 (U)

Х

OK ++>>tell

LSB->MSB

☑シンボルの演算/レンジ変換を利用する

変換前範囲 0(U)

変換後範囲 <u>0(U)</u>

■ロギングサーバの演算/レンジ変換対応(PLC、内部デバイス)

【概要】

ロギングサーバにPLC、内部デバイス設定時、演算/レンジ変換が設定できます。グラフ表示やCSV出力なども全て変換後のデータで扱えます。

DEC

DEC

DEC

DEC

DEC

DEC

WM0000000000

WM00000102

WM00000103

WM00000104

WM00000105

16 レシピ リストダイアログの表示改善

対応機種: V9、X1

【概要】

長いファイル名の場合も、全て表示できるようになりました。 ファイル名の末尾だけが違うようなレシピファイル名でも 探しやすくなります。

【必要な設定】

スイッチダイアログの [ファイル名表示を省略しない] のチェック

スイッチ		
アレビス スタイル 文字属性	機能 レシピ レシピデータセーブ レシピデータロード レシピデータ明除	✓ □全で表示
	説明 レンビデータのセーブを行い レンビNo.	
マクロ マクロ ディレイ	ファイルの選択方法	 ▽実行時に選択 □ 作成日時を表示 >> □ 更新日時を表示 >> □ 更新日時を表示 >> □ アイル名表示を省略しない

例:更新日時の表示ありの場合

機能

「ファイル名表示を省略しない]:チェックなし

ファイルを選択してください

ファイル名	更新日時	▼ フィルタ
Hakko Electronics Co.,Ltd.P…	2021/03/10 10:55:	□ ファイル
Hakko Electronics Co.,Ltd.P…	2021/03/10 10:55:	▲ 新規作成
Hakko Electronics Co.,Ltd.P…	2021/03/10 10:55:	

・ [ファイル名表示を省略しない] : チェックあり

ファイルを選択してください	列幅を広げてファイル名を全て表示可	
ファ	イル名	▼ フィルタ
Hakko Electronics Co.,	Ltd.ProductLine_V9100i\$ 2	ファイル
Hakko Electronics Co.,	Ltd.ProductLine_V9120iS 2	和功化作成
Hakko Electronics Co.,	Ltd.ProductLine_V9150iX 2	

X

17 バックアップフォルダの削除機能

対応機種: V9、X1

【概要】

ロギング/アラーム/帳票のバックアップフォルダを直近の指定した日数分を残して、自動削除します。不要になったバックアップフォルダを 手動で削除する必要がなくなり、満杯による書き込みエラーを防止します。 V9カレンダの現在日からカウントします。



【補足】

[システム設定]→[本体設定]→[環境設定]のチェックで自動削除することもできます。

・ [バックアップ作成時、ストレージ容量が不足した場合、古いフォルダから削除する]

・ [ストレージ容量が100MByte以下になった場合、古いフォルダから削除する]



機能

20 MES スタンドアローン対応

対応機種: V9、X1

【概要】

ストレージ内のデータベースファイルに対してMES機能が使用できます。 V-ServerやEthernet環境を用意する必要がないため、モニタッチだけで簡単に実現できます。 また、データベースファイルはマクロコマンドMES_WRITEで新規作成できるため、データベースの構築も不要です。



機能

21 Web Machine Interface機能 仕様改善

対応機種: V9

■DNSによるドメイン接続

【概要】

現状、V9のWeb Machine Interface機能では、認証サーバのグローバルIPアドレスを指定して認証/接続しています。 契約しているクラウドサーバがサービス停止や廃止になった際、新しいサーバ接続への設定し直し作業が必要です。 よって、今後のメンテナンスや利便性向上のため、DNS経由によるドメイン名の接続に対応しました。 V9にDNSを設定することで、将来的にサーバ切り替えが発生しても、自動で切替接続します。

【必要な設定】

V9のVPNまたはクラウド接続で使用する [LAN/LAN2/WLAN設定] → [オプション] → [DNS設定]



*DNS未設定時は以下のメッセージが表示されます

	¥I ANI發定	VPN股定 2020-12-28 10:16:25
1		無効 有効
:	VPN設定	_ VPNで使用するポート
1	<u> </u>	LAN LAN2 WLAN IPアドレス: 192.168.1.25 DN51: 未登録 DN52: 未登録
	クラウド設定	••••••••
		VPN設定 プロキシ設定 オプション
	E-Mail設定	ドメイン名 HAKKOTESTDOMAIN
	<i></i>	
	SRAM設定	
	22	VPN用割当IPアドレス
	通信設定	# 2 ** 1 = 2 *
	ð	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	システム設定	DNS設定を行うことをお勧めします。DNSについてはネットワーク管理者に確認してください。
	5	▲************************************

■監視機能設定の機能拡張

【概要】

VPN接続後、切断状態になった時、 自動で認証サーバからVPNサーバに対して認証を行い、 再接続する動作に対応しました。 VPNサーバとのリンク状態を格納する\$s1679も常時更新 します。

【再接続のタイミング】 【VPN設定】→ 【オプション】→ 【VPNサーバとのリンク確認間隔】

Se RUN	VPN設定 2020-12-28 16:23:40
システム情報	無効 有効
冬 言語設定	VPNで使用するボート LAN2 WLAN IPアドレス: 192.168.1.2 DNS1:192.168.1.1 DNS2:192.168.1.2
LAN設定	VPN設定 プロキシ設定 オブション
LAN2設定	監視機能設定 ・ X 監視機能を使用する
<mark>(</mark> @)	起動後のVPN自動接続失敗時のリトライ間隔 5 *= in
WLAN設定	VPNサーバとのリンク確認問題 2 *#in
<mark>∡</mark> ≫ VPN設定	
~ 🗀	•

	機能				
22	三菱電機 Q170ラダーモニタアップロード機能対応				
	対応機種: V9、X1 接続機種: ・Q170MCPU(マルチCPU) ・Q170シリーズ(マルチCPU)(Ethernet)				
23	横河電機 Ethernet接続機種のラダーモニタ対応				
	対応機種: V9、X1 PLC機種: •FA-M3/FA-M3R(Ethernet UDP/IP) •FA-M3/FA-M3R(Ethernet UDP/IP ASCII) •FA-M3/FA-M3R(Ethernet TCP/IP) •FA-M3/FA-M3R(Ethernet TCP/IP ASCII) •FA-M3V(Ethernet) •FA-M3V(Ethernet ASCII)	注意事項 : コメントのアップロードは未対応			
24	Siemens S7-1200/1500 (Ethernet ISOTCP) ST	RING型 対応			
	対応機種: V9/TS2060i/V8i(N)、X1 接続機種: Siemens S7-1200/1500(Ethernet ISOTCP)				
	【概要】 PLC側にてデータ種別をSTRING型に定義したDBデバイスの読み書きに対 各対応アイテムに「STRING型」の設定が必要です。	応します。 例:文字列表示ダイアログ→ [細かい設定]			
		文字列表示			
	【対応アイテム】 ・文字列表示 ・表形式データ表示の文字列表示 ・データサンプリングの文字列表示(表示領域) ・レシピ(V9のみ) ・アラームサーバー:パラメータテーブル(V9、X1のみ) ・ロギングサーバー(V9、X1のみ) ・レシピ(V9、X1のみ) ・バッファリングエリア:アラームのパラメータテーブル(TS2060i/V8i ・バッファリングエリア:トレンド(TS2060i/V8i(N)のみ)	 を標 			
25	処理サイクル 定周期機能				
	対応機種: V9、X1	スクリーン設定 ×			
	【概要】 各アイテムに設定する処理サイクルを定周期に変更できます。 各スクリーンに、最大3つ(定周期1,2,3)設定できます。 【必要な設定】 [画面設定】→ [スクリーン設定] → [PLCデバイス転送] →	メイソ スクロール 入力 その他 PLCデバイス転送 再表示 PLCデバイス転送 「 No.00 D00100 \$u00100 1 (No.01 D00200 \$u00100 1 ● (No.02 D00200 \$u00100 1 ● (No.03 D00100 \$u00100 1 ● (No.04 D00100 \$u00100 1 ●			
	・チェックなし 定周期1 : 100msec 固定 定周期2 : 200msec 固定 定周期3 : 1000msec 固定	□ No.06 D01000 \$4.00100 1 □ No.06 D01000 \$4.00100 1 □ No.07 D00100 \$4.00100 1			
	・チェックあり 1~3600(単位:*100mSec)で指定可	 ✓ 定周期2 2 ◆ *100msec ✓ 定周期3 10 ◆ *100msec 			
	【設定箇所】 各アイテムの [細かい設定] → [処理サイクル]	例:数值表示			
	【補足】 現在表示しているスクリーンの各定周期時間は 以下の\$sに格納されます。	★ 個支示 重 重 表示内容 始点X 128 ★ 始点Y 94 ★			
	\$s1647 : 定周期1 (単位:*100mSec) \$s1648 : 定周期2 \$s1649 : 定周期3	その値 及タイル 処理サイクル 高速 ↓ リフレッシュ 液理			
	* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』を参照	機能 半角/全角 定周期1 定周期2 定周期3			
26	「読込/書込エリア」(V8互換)の初期スクリーンNo.:	指定			
	対応機種: V9、X1	該达/會达IU7設定 X			
	【概要】 V8以前(PLC接続あり)の機種からV9またはX1に置き換え時、 V9/X1新規作成時と同様、「初期スクリーン」のNo.指定が可能です。	続込/書込エリア GD-00互換 読込エリア PLC1 ◇ 0 ♀ D ◇ 00000 ♀ @ 書込エリア PLC1 ◇ 0 ♀ D ◇ 00000 ♀ @			

【補足】 初期マクロよりも優先して動作します。

☑初期スクリーン

0

OK キャンセル

1 デバイス使用状況一覧 表形式対応

【概要】

デバイスの使用状況を表形式で表示できます。 セルを選択すると青色に変わり、その使用箇所が下に表示されます。 ダブルクリックで使用箇所にジャンプすることもできます。

【操作方法】

1. [ツール] → [検索] → [シンボルとデバイス] をクリックする



- 2. [デバイスとシンボル使用状況一覧] が表示されるので、 [デバイス使用状況] タブを選択する
- 3. デバイス検索範囲を指定し、 [OK] をクリックする





2 イメージファイル名のUnicode対応

【概要】

スイッチやランプなどのパーツに、ユーザが用意した画像ファイル(イメージファイル)を使用できます。このファイル名をUnicodeで扱えます。 OSに依存した文字を使用した場合でも、他の言語OSで文字化けすることなく、使用できます。 また、エラーチェックでOS依存文字を使用したファイル名の使用箇所が特定できるため、使用自体を防ぐこともできます。

エディタ

例:日本語OSのパソコン





3 表形式データ表示 セルの幅と高さの直接変更



4 V9、X1の既存画面データを開く際の警告表示 対応機種: V9、X1

【概要】

現状、V9、X1の新規画面作成時に表示される警告メッセージが、既存のV9、X1画面データを開く場合も表示します。



[次回から表示しない] にチェックをすると、 設定したパソコンでは次回起動時から表示されません。

5 SignAiEdge機種追加

【概要】

[編集機種選択] にて、富士電機製 現場型診断装置「SignAiEdge」が選択できるようになりました。



以上です。